
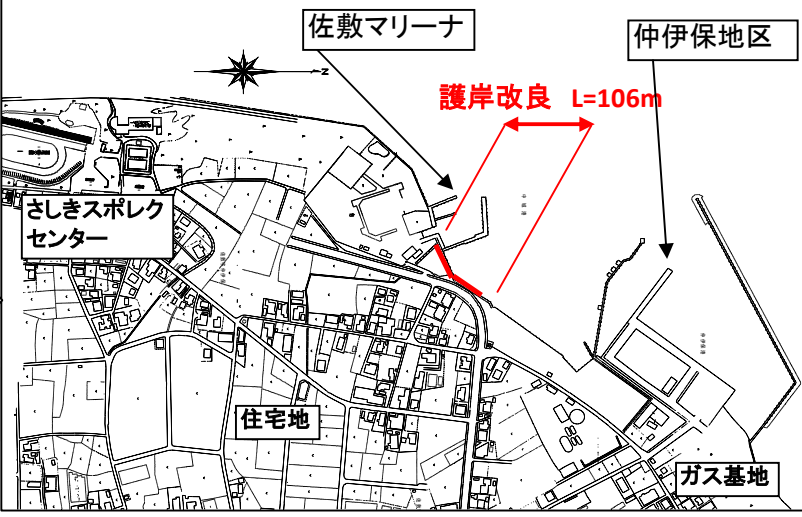


公共事業事前評価調書(平成25年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 海岸班

事業名	中城湾港海岸(仲伊保地区)老朽化対策事業		事業区分	老朽化	事業主体	沖縄県
事業箇所	南城市仲伊保地先					
事業の諸元	事業延長: 106 m 工法: 護岸改良 (混成型護岸)					
事業の概要	当海岸は、沖縄本島東海岸(南城市)の中城湾港仲伊保地区に隣接する海岸で背後は住宅が整備されている。既設のコンクリート直立護岸の水叩きより下の部分は琉球政府時代に築造されたと思われる。上部工は昭和60年に嵩上げされたもので築造後40~50年が経過し、老朽化がかなり進行している。そのまま放置した場合、護岸崩壊が進み、高潮時に背後地の大規模な浸水被害が生じる恐れが高いことから、老朽化対策緊急事業による整備を行う。					
事業の必要性・効果等	当該箇所の背後は、さしきスポレクセンターへ続く道路があり、護岸に近接して住宅等がある。しかし、平成24年の台風16号により既設護岸が高潮により被害を受けた。上部工はひび割れ、さらに傾いてきており、護岸内盛土部は基礎下部、目地等から吸い出しによる水叩きの沈下が生じている等、老朽化がさらに進んだ。このような状況から護岸倒壊の恐れがあり、背後地の浸水被害発生の危険性が非常に高くなった。 よって早急に護岸整備を行い、その背後の施設、住宅を浸水被害から回避し、高潮時の安全性の確保を図る必要がある。					
事業期間	事業採択	平成 25年度	完了(予定)	平成 27年度		
全体事業費	1.0	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C	総便益: B	6.73	(億円)	総費用: C	0.97 (億円)
	7.0				基準年	平成24年度
		① 浸水防護便益		① 事業費		
		②		② 維持管理費		
		③		③		
事業着手の熟度・上位計画との整合性	平成24年度内に琉球諸島沿岸海岸保全基本計画において、整備計画に位置付ける予定である。沖縄21世紀ビジョン基本計画に位置付けられている。					
環境への配慮	当該海岸周辺では、トカゲハゼ等希少種は生息が確認されていないが、カニ、オカヤドカリ等の小動物が海岸へアクセスできる石積傾斜護岸形式とし、生物の生息空間を創るとともに、汚濁防止等の環境に十分配慮した施工方法・施工計画を、実施設計等で十分検討し、自然環境、生態系へ配慮する。					
関係する地方公共団体等の意見	平成24年9月25日に南城市長より当該海岸護岸整備の要望がある。					
概要図(位置図)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>位置図</p>  <p>中城港海岸 仲伊保地区</p> <p>南城市</p> </div> <div>  <p>佐敷マリーナ</p> <p>仲伊保地区</p> <p>護岸改良 L=106m</p> <p>さしきスポレクセンター</p> <p>住宅地</p> <p>ガス基地</p> </div> </div>					